

報道関係者 各位

(公財)世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会

プレスリリース
WCRP日本委員会
岸田首相へG7広島サミットに向けた宗教者提言を手交



5月15日、WCRP日本委員会の代表者8人が首相官邸を訪れ、岸田首相へ提言書を手交(©WCRP日本委員会)
左から黒住理事, 宮本顧問, 田中評議員, 戸松理事長, 岸田首相, 宍野特別会員, 庭野理事, 河田女性部会副部長, 白浜教区長

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会は5月15日、戸松義晴理事長ら代表者8人が東京・千代田区の首相官邸を訪れ、岸田文雄首相と会談し、G7広島サミットに向けた宗教者による提言書を手渡しました。

『G7サミットに向けた宗教者提言～「ヒロシマの心」が導く持続可能な平和をめざして～』と題する提言書は、10日に同日本委員会が広島で開催した「宗教者による祈りとシンポジウム」(於:カトリック幟町教会 世界平和記念聖堂)にて採択されたものです。

提言では、G7広島サミット参加国の指導者に「ヒロシマの心」(原爆犠牲者の冥福を祈り、戦争という過ちを再び繰り返さないことを誓い、同時に過去の悲しみに耐え、憎しみを乗り越え、全人類の共存と繁栄を願い、真の世界平和の実現を祈念する)の具現を要請。具体的な提言として、「分断から和解、対立から対話へ」「核戦争回避と核兵器廃絶」「地球の持続可能性への責任」「SDGs達成への責任」「極端な経済格差の是正」「信教の自由の堅持」の6つを表明しています。

15 分程行われた会談では、冒頭に戸松理事長から岸田首相へ提言書を手渡し、記念撮影（写真）を行いました。訪問者の自己紹介の後、岸田首相が挨拶。岸田首相は、提言書の提出に謝意を表した上で、「原爆によって壊滅的な被害を受け、その後力強く復興を遂げ、世界に向けて平和を訴えている、この広島という場所に世界のリーダーが集まることは、大変大きな重みをもっている」とG7サミットが広島で開催されることの意義を強調しました。さらに、ロシアが行っている力による一方的な現状変更や核兵器による威嚇に対し「絶対に許してはならない」と述べ、G7の首脳が世界に向けて「法の支配による自由で開かれた国際秩序の大切さを明確に示していきたい」と決意を語りました。その上で、今回の宗教者による提言について、「提言のポイントを念頭に置きながら、しっかりと議論を行っていきたい」と述べました。

これに対し、戸松理事長は提言書を採択した広島での「祈りとシンポジウム」について報告。被爆者の森重昭さんから証言を聞き、「あのような辛い思い、悲しい思いを二度と起こしてはならないと感じた」と感想を述べました。その上で、G7サミットの開催地として広島を選んだ岸田首相の決断に敬意を表し、サミット参加国の首脳らに「原子爆弾を使うとどういふことが起きるのかを感じていただきたい」と期待を述べました。さらに岸田首相に対して、「核兵器のない平和な世界の実現に向けて、日本のリーダーシップを示していただきたい」と要望しました。

岸田首相はこれを受け、昨年、日本の首相として初めて出席した核不拡散条約（NPT）再検討会議で成果文書がまとまらなかったことについて触れ、「核軍縮を巡って、世界がいま分断されている」と説明。そのような状況の中でも「核兵器のない世界を目指すという理想は、皆で掲げ続けていなければならぬ」と強調し、今回のサミットを「核兵器のない世界を目指す」とする機運を再び盛り上げるきっかけにしていきたいと、決意を述べました。

【首相官邸訪問者一覧】（※敬称略）

1. 戸松義晴（浄土宗心光院住職・WCRP日本委員会理事長）
2. 宍野史生（神道扶桑教管長・日本宗教連盟理事長・WCRP日本委員会特別会員）
3. 田中恆清（神社本庁総長・石清水八幡宮宮司・WCRP日本委員会評議員）
4. 庭野光祥（立正佼成会次代会長・WCRP日本委員会理事）
5. 宮本恵司（妙智會教団法嗣・WCRP日本委員会顧問）
6. 河田尚子（アル・アマーナ代表・WCRP日本委員会女性部会副部会長）
7. 黒住宗道（黒住教教主・WCRP日本委員会理事）
8. 白浜 満（カトリック広島司教区教区長）

※写真データをご入用の方は、広報担当（三善）までご連絡ください。

世界宗教者平和会議（WCRP）について

WCRPは、1970（昭和45）年に39カ国から諸宗教の代表者約300人が集まり、京都で第1回大会を開催したのが始まり。諸宗教の連帯によって平和活動を推進する国際組織として、国連経済社会理事会（ECOSOC）の諮問資格を有し、1999（平成11）年からはNGOの最高資格である総合協議資格を取得しています。世界大会は当初から数年ごとに、欧州、米国、アフリカ、豪州、中東など世界各地で開催。現在、世界90カ国以上にネットワークを有し、諸宗教間の対話・協力活動という特徴を生かして紛争和解や軍縮、難民支援、開発援助、環境保護などの平和活動に取り組んでいます。

日本委員会は、1972（昭和47）年に日本宗教連盟の国際問題委員会を母体として発足し、2012（平成24）年4月より公益財団法人として活動を展開しています。

〔問い合わせ〕（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会

住所：東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター3階

TEL：03-3384-2337、FAX：03-3383-7993

広報：三善（TEL：080-2003-2031 mail：takeo.miyoshi@kosei-kai.or.jp）